

科目名 (科目番号)	臨床検査総論実習 (102133)	教員名 稲田 政則 他	学科等	臨床検査	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			オフィスアワー		各担当教員シラバス参照		
授業概要	血液以外の各種検体に対する諸検査法について、操作および判定法等を実習し、理解を深める。						
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	尿定性検査 (1)尿検体の取り扱いと尿試験紙の基本操作 (2)尿比重	尿検体の取り扱い方と尿試験紙の基本操作を習得する。尿比重の計測法について習得する。				
	2	尿定性検査 (3)尿蛋白定性検査 (4)尿糖検査	尿蛋白定性検査の測定技術とその判定方法を習得する。尿糖検査の測定技術を習得し、その限界を理解する。				
	3	尿定性検査 (5)尿潜血検査 (6)アセトン体検査	尿潜血検査の測定技術を習得し、その限界を理解する。アセトン体検査の測定技術を習得する。				
	4	尿定性検査 (7)ビリルビン検査 (8)ウロビリノーゲン検査	ビリルビン検査、ウロビリノーゲン検査の測定技術を習得すると共に、測定結果に影響を及ぼす要因を理解する。				
	5	尿定性検査 (9)妊娠反応 (10)尿定性検査のまとめ	妊娠反応について測定技術を習得する。尿定性検査について技術体系(尿試験紙法の自動化と確認試験の必要性)を理解する。				
	6	尿沈渣 (1)標本作製と顕微鏡操作	尿沈渣標本の作製法を習得する。顕微鏡の基本的な取り扱い方を習得する。				
	7	尿沈渣 (2)血球の形態 (3)上皮細胞の形態	血球成分、上皮細胞の形態学的特徴を理解する。				
	8	尿沈渣 (4)円柱の形態 (5)結晶・その他成分の形態	円柱、および、その他の成分について形態学的特徴を理解する。				
	9	尿沈渣 (まとめ)	実際の症例について各種有形成分を同定し、報告書作成までの一連の流れを習得する。				
	10	髄液検査 (1)標本作製と計算盤の取り扱い	髄液中の有核細胞の染色技術、計測技術を習得する。				
	11	髄液検査 (2)各種細胞の形態	髄液中の各種細胞の形態学的特徴を理解する。				
	12	胃液検査	胃液検査の測定法を習得する。				
	13	便潜血検査	便潜血検査の測定技術とその判定方法を理解する。				
	14	寄生虫(卵)検査 (1)標本作製と顕微鏡操作 (2)線虫の鏡検	寄生虫(卵)検査のための標本作製法と顕微鏡操作を習得する。線虫卵の形態学的特徴を理解する。				
15	寄生虫(卵)検査 (3)吸虫の鏡検 (4)糸虫の鏡検 (5)蠕虫・原虫類の鏡検	吸虫卵、糸虫卵の形態学的特徴を理解する。蠕虫・原虫類について、鏡検を通して、その特徴を理解する。					
成績評価の方法・基準	実習レポート(40%) + 定期試験(60%)						
教科書	配布資料						
参考図書	尿沈渣検査法2010 髄液検査技術教本		日本臨床衛生検査技師会 日本臨床衛生検査技師会		日本臨床衛生検査技師会 日本臨床衛生検査技師会		
教員からのメッセージ	毎回、実習レポートの提出が必要となりますので、丁寧・確実に記録を取りながら、実習に臨んでください。なお、寄生虫に関する実習は集中講義として実施され、実習直後に試験が行われる予定です。レポートは原則としてオンライン提出とし、添削の上、得点を明記し、オンラインで返却します。						